

令和6年度 事務事業評価シート（１）

[令和5年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	文化財保護事業	事業番号	008-049
担当部署名	文化観光	局	歴史遺産活用
		部	文化財
			課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2025	施策 との 関連	有・無	戦略	—		施策	—		
			無	取組の方向性	—					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—		
			無	取組	—					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		

2	関連計画	
3	事業開始年度	昭和 40 年度
		点検対象年度
		令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	文化財保護法・大阪府文化財保護条例・堺市文化財保護条例

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁・出先機関（文化財課分室）・その他（文化財所有者・文化財保存団体）
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市内所在の指定（129件）・登録（65件）文化財および埋蔵文化財
		対象数
		単位
		—
		—
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	・指定文化財の恒久的な保存・保護・育成及び活用 ・個人住宅、兼用住宅の建設にかかる埋蔵文化財調査費用負担の軽減とあわせ、市内遺跡の情報を収集する。 ・出土遺物の恒久的な保存を処置したうえで公開・活用する。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	○文化財の保存・活用 ・本市所有の文化財については直接、保存・公開等を実施。本市所有以外の指定文化財については、所有者・団体に補助金を交付。（12件） ・9月16日から10月22日の期間で、さかい利晶の杜企画展「堺茶の湯ワールド」を開催し、堺環濠都市遺跡から出土した茶道具を展示。 ・10月7日に史跡旧堺燈台、10月22日に史跡土塔の特別公開を開催。 ○埋蔵文化財確認調査 ・埋蔵文化財緊急発掘調査により遺跡の状況を確認し記録。（12件） ○出土遺物保存処理 ・業務委託により出土遺物の化学的な保存処理を実施。
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	委託業者、文化財所有者・文化財保存団体
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	目標	目標 点検対象年度
				令和4年度	令和5年度	令和6年度
				令和7年度		
	適切に保存保護・公開が可能となった文化財の件数	件	目標値	16	17	17
			実績値	16	17	
			達成率	100%	100%	
	当該指標を選定した理由					文化財の恒久的な保存・保護・育成及び活用に必要な修理などが目標の達成に直結しているため。
	目標値の設定根拠・算出方法					実際の実施件数（実績）
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	目標	
				令和4年度	令和5年度	令和6年度
				令和7年度		
	埋蔵文化財確認調査件数	件	目標値	12	10	12
			実績値	14	12	
			達成率	117%	120%	
	当該指標を選定した理由					個人住宅建設等に先立ち埋蔵文化財調査を実施することで、市内遺跡の内容把握だけでなく遺跡保護に関する基礎データ収集の役割も果たすため。
	目標値の設定根拠・算出方法					実際の調査件数（実績）

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		文化財保護事業				事業番号		008-049			
-------	--	---------	--	--	--	------	--	---------	--	--	--

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		決算		決算		当初予算		当初予算	
13	事業費（a）	9,164		13,092		9,167		24,485	
	国支出金	1,245		1,361		1,554		1,123	
	府支出金	70						0	
	市債							0	
	その他（ ）							0	
	受益者負担金(使用料、手数料等)							0	
	一般財源	7,849		11,731		7,613		23,362	
14	人件費（b）	17,480		19,940		18,810		22,500	
15	年間経費（c）=(a)+(b)	26,644		33,032		27,977		46,985	

事業費の内訳

（単位：千円）

16	事業費内訳	項 目	年度		事業費	うち一般財源	項 目	年度		事業費	うち一般財源
		会計年度任用職員報酬	R5	決算	865	433	さかい利晶の杜企画展示	R5	決算	286	286
			R6	予算	115	115		R6	予算	300	300
		堺市文化財情報システム（GIS）保守点検業務	R5	決算	550	550	文化財保存事業補助金	R5	決算	2,692	2,692
			R6	予算	550	550		R6	予算	1,479	1,479
		埋蔵文化財緊急発掘調査業務	R5	決算	951	476	指定文化財樹木保護増殖業務	R5	決算	1,018	1,018
			R6	予算	1,000	470		R6	予算	618	618
		出土遺物保存処理業務	R5	決算	561	281	堺市指定有形文化財本願寺堺別院保存修理補助事業	R5	決算	0	0
			R6	予算	1,000	470		R6	予算	18,000	18,000
		文化財説明板設置更新等業務	R5	決算	265	265	その他（需用費、役務費など）	R5	決算	391	279
			R6	予算	200	200		R6	予算	1,223	1,160

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	①	埋蔵文化財確認調査件数	件	14	12
	②	上記①にかかる年間経費	千円	1,155	951
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	82,500	79,250
	備考（算出についての説明等）				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	確認調査で得られた成果は当該開発のみならず、周辺開発における遺跡保護のための基礎データとして活用することができた。 確認調査1件当たりの調査費用は若干減少したが、人件費の増加等により経費は横ばいの傾向にある。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	指定文化財の管理・保存修理・後継者育成などの事業を展開したことで、文化財の所有者や保存団体の負担軽減に加えて文化財保護に対する意識をさらに深めるきっかけともなり、事業目標である指定文化財の恒久的な保存・保護・育成及び活用が達成された。 さかい利晶の杜の企画展では3,000人を超える入場者数があり、堺環濠都市遺跡出土資料を活用して中世の茶の湯への理解を深めることができた。 史跡旧堺燈台の公開では480人、史跡土塔の公開では600人の参加があり、堺の文化財保護に対する意識醸成を進めた。 さらに、出土遺物の保存処理など、展示等公開・活用するための取組を進めることで文化財への関心を高めるほか、保護への意識醸成を進めることができた。
----	--